

# 2011年3月期第1四半期決算 主要建設会社決算分析



2010年9月10日

財団法人 建設経済研究所

# 目次

---

1. 調査の目的
2. 分析対象会社
3. 報告要旨
4. 主要分析結果
  - ①受注高
  - ②売上高
  - ③売上総利益
  - ④販売費及び一般管理費
  - ⑤営業利益
  - ⑥経常利益
  - ⑦特別利益・特別損失
  - ⑧当期純利益
  - ⑨有利子負債
  - ⑩自己資本比率・デットエクイティレシオ
  - ⑪キャッシュフロー

# 1. 調査の目的

---

財団法人建設経済研究所では、1997年より主要建設会社の財務内容を階層別・経年的に比較分析することにより、建設業の置かれた経済状況とそれに対する各企業の財務戦略の方向性について、継続的に調査しています。

今回の発表は、各社の決算短信から判明する2010年度の財務指標の分析を提示するものです。なお、分析対象会社の一部は12月期決算を採用しています。

資料の提供を頂いた各社には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

(お問合せ先) 財団法人 建設経済研究所 研究理事 山口 悦弘  
研究員 小室 隆史  
岡田 康男  
江村 隆祐

電話:03-3433-5242 FAX:03-3433-5239

## 2. 今回の分析対象会社

### (1) 対象会社の抽出 ※変更あり(対象会社の洗い替えを実施)

全国的に業務展開を行っている総合建設業者を念頭に、以下の要件に該当し、過去直近3年間の連結売上高平均が上位の39社を抽出した。

- ① 建築一式・土木一式の売上高が恒常的に5割を超えていること
- ② 会社更生法、民事再生法などの倒産関連法規の適用を受けていないこと
- ③ 非上場等により決算関係の開示情報が限定されていないこと

### (2) 階層分類 ※変更あり(階層別企業数)

売上高規模別に、以下の3つに階層に分類した。

階層	連結売上基準 (3年間平均)	分析対象会社	社数
大手	1兆円超	鹿島建設、清水建設、大成建設、大林組	4社
準大手	2000億円超	長谷工コーポレーション、戸田建設、西松建設、三井住友建設、前田建設工業、五洋建設、フジタ、熊谷組、東急建設、奥村組、安藤建設、ハザマ、東亜建設工業	13社
中堅	2000億円未満	銭高組、浅沼組、福田組、鉄建建設、東洋建設、大豊建設、飛鳥建設、青木あすなろ建設、ピーエス三菱、ナカノフドー建設、東鉄工業、大本組、矢作建設工業、若築建設、松井建設、大和小田急建設、名工建設、不動テトラ、北野建設、大末建設、徳倉建設、植木組	22社

### 3. 報告要旨

---

- 受注高(単体)は、2008年からの世界同時不況の影響で2009年度第1四半期は大幅に落ち込んだが、さらに、2010年度第1四半期は、対前年同期比▲6.3%の減少となった。(建築:▲1.7% 土木:▲16.2%)
- 2010年度第1四半期の売上高は、前年度の受注高減少に伴う繰越工事の減少の影響もあり、対前年同期比▲15.8%と減少した。
- 売上総利益については、各社の採算性を重視した選別受注と工事採算の改善努力により、利益額、利益率とも改善した。
- 円高の進行に伴う為替差損が多くの企業で計上され、経常利益へ大きなインパクトを与えた。(総計で約70億円)
- 当期純利益については、売上総利益の改善に伴い、対前年同期比で増加に転じている企業が多い。

# 4. 主要分析結果

## ①受注高(単体:受注高合計)

単位:百万円

### 受注高／対前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
08年度1Q	1,126,911	(対前年同期比)	714,613	(対前年同期比)	376,549	(対前年同期比)	2,218,073	(対前年同期比)
09年度1Q	649,283	▲ 42.4%	491,340	▲ 31.2%	288,546	▲ 23.4%	1,429,169	▲ 35.6%
10年度1Q	554,431	▲ 14.6%	491,560	0.0%	293,749	1.8%	1,339,740	▲ 6.3%

### 今年度予想／達成率(大手)

	受注予想額	達成度
10年度半期予想	1,790,000	31.0%
10年度通期予想	4,480,000	12.4%

- 受注高(単体)は、2008年からの世界同時不況の影響で2009年度第1四半期は大幅に落ち込んだが、さらに、2010年度第1四半期は、対前年同期比▲6.3%の減少となった。
- 建築▲1.7%・土木▲16.2%と、ともに減少となったが、特に土木において大幅な落ち込みとなった。
- 「準大手」・「中堅」は対前年同期比では微増であったが、「大手」は大幅に落ち込んだ(▲14.6%)。

注)大和小田急建設が受注データ非公開のため、数値に含めず

# 受注高(単体:建築)

単位:百万円

## 受注高／対前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
08年度1Q	796,923	(対前年同期比)	514,474	(対前年同期比)	221,836	(対前年同期比)	1,533,233	(対前年同期比)
09年度1Q	485,543	▲ 39.1%	324,240	▲ 37.0%	161,769	▲ 27.1%	971,552	▲ 36.6%
10年度1Q	411,909	▲ 15.2%	362,929	11.9%	179,945	11.2%	954,783	▲ 1.7%

## 今年度予想／達成率(大手)

	受注予想額	達成度
10年度半期予想	1,330,000	31.0%
10年度通期予想	3,345,000	12.3%

- 建築の受注高の総計は、対前年同期比▲1.7%の減少となった。
- 「準大手」・「中堅」は10%を超える増加(ただし、08年度には及ばない)となったが、「大手」では▲15.2%と大幅な減少となった。
- 民間企業に延期していた設備投資の再開の動きはあるが、まだ全般に不透明である。さらに、円高の進行など懸念材料もあり、各社、目標達成は困難さが増していると考えられる。

# 受注高(単体:土木)

単位:百万円

## 受注高／対前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
08年度1Q	261,183	(対前年同期比)	191,509	(対前年同期比)	151,723	(対前年同期比)	604,415	(対前年同期比)
09年度1Q	134,046	▲ 48.7%	160,388	▲ 16.3%	119,766	▲ 21.1%	414,200	▲ 31.5%
10年度1Q	115,871	▲ 13.6%	120,026	▲ 25.2%	111,045	▲ 7.3%	346,942	▲ 16.2%

## 今年度予想／達成率(大手)

	受注予想額	達成度
10年度半期予想	385,000	30.1%
10年度通期予想	970,000	11.9%

- 土木の受注高は、各階層で減少となり、総計で対前年同期比▲16.2%と大きく減少した。
- 特に「準大手」は、対前年同期比▲25.2%と大幅な減少となった。  
(主要因としては官庁での落ち込みが大きい)
- 2010年7月に当研究所が発表した2010年度政府土木投資は、対前年度比▲19.1%と予想しており、今後も厳しい環境が続くとみられる。

注)大和小田急建設が受注データ非公開のため、数値に含めず

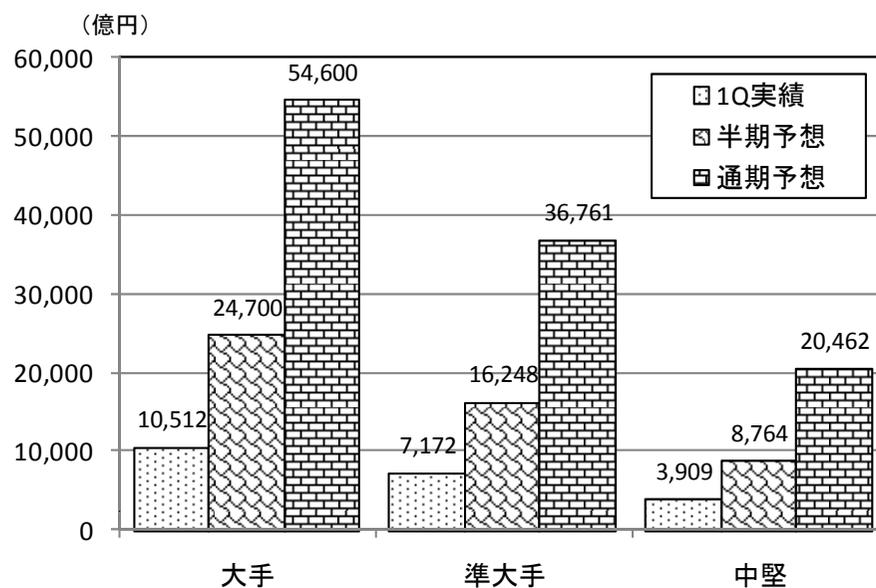
## ②売上高(連結)

単位:百万円

### 売上高／対前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
08年度1Q	1,465,934	(対前年同期比)	831,042	(対前年同期比)	397,343	(対前年同期比)	2,694,319	(対前年同期比)
09年度1Q	1,417,596	▲ 3.3%	737,777	▲ 11.2%	409,010	2.9%	2,564,383	▲ 4.8%
10年度1Q	1,051,177	▲ 25.8%	717,154	▲ 2.8%	390,864	▲ 4.4%	2,159,195	▲ 15.8%

### 今年度予想



- 売上高は、前年度の受注高減少に伴う、年度繰越工事の減少の影響もあり、対前年同期比▲15.8%と減少した。
- 「準大手」・「中堅」の減少幅は小さいものの、「大手」は、▲25.8%と大幅に減少した。

### ③売上総利益（連結）

単位：百万円

#### 売上総利益／売上総利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率
08年度1Q	93,363	6.4%	51,270	6.2%	26,681	6.7%	171,314	6.4%
09年度1Q	85,282	6.0%	52,759	7.2%	28,785	7.0%	166,826	6.5%
10年度1Q	91,007	8.7%	59,156	8.2%	32,693	8.4%	182,856	8.5%

#### 対前年同期比

	大手	準大手	中堅	総計
08年度1Q	-	-	-	-
09年度1Q	▲ 8.7%	2.9%	7.9%	▲ 2.6%
10年度1Q	6.7%	12.1%	13.6%	9.6%

- 売上総利益は、各社の採算性を重視した選別受注と工事採算の改善努力により、利益額、利益率とも改善した。
- 売上総利益率については総計で2.0%ポイント上昇した。（「大手」で2.7%ポイント上昇、「準大手」で1.0%ポイント上昇、「中堅」で1.4%ポイント上昇）
- 2010年度当初には資材価格の高騰が懸念されていたが、おおむね安定して推移したことにより、影響はなかったものと考えられる。

## ④販売費及び一般管理費(連結)

単位:百万円

### 販管費／販管費率

	大手		準大手		中堅		総計	
	販管費	販管費率	販管費	販管費率	販管費	販管費率	販管費	販管費率
08年度1Q	83,527	5.7%	61,140	7.4%	36,682	9.2%	181,349	6.7%
09年度1Q	79,252	5.6%	57,370	7.8%	32,440	7.9%	169,062	6.6%
10年度1Q	74,466	7.1%	52,513	7.3%	30,310	7.8%	157,289	7.3%

### 対前年同期比

	大手	準大手	中堅	総計
08年度1Q	-	-	-	-
09年度1Q	▲ 5.1%	▲ 6.2%	▲ 11.6%	▲ 6.8%
10年度1Q	▲ 6.0%	▲ 8.5%	▲ 6.6%	▲ 7.0%

- 販管費は、総計で対前年同期比約118億円減少した(うち「大手」は約48億円減少、「準大手」は約49億円減少、「中堅」は約21億円減少)。
- 販管費率は、販管費の削減が実施されたものの、それを上回る売上高の減少により、総計で0.7%ポイント増加した。

## ⑤ 営業利益（連結）

単位：百万円

### 営業利益／営業利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率
08年度1Q	9,836	0.7%	▲ 9,870	▲ 1.2%	▲ 10,001	▲ 2.5%	▲ 10,035	▲ 0.4%
09年度1Q	6,030	0.4%	▲ 4,611	▲ 0.6%	▲ 3,655	▲ 0.9%	▲ 2,236	▲ 0.1%
10年度1Q	16,540	1.6%	6,640	0.9%	2,381	0.6%	25,561	1.2%

### 対前年同期比

	大手	準大手	中堅	総計
08年度1Q	-	-	-	-
09年度1Q	▲ 38.7%	▲ 53.3%	▲ 63.5%	▲ 77.7%
10年度1Q	174.3%	黒字転換	黒字転換	黒字転換

- 営業利益は、売上総利益の改善と販管費の削減により大きく回復した。
- 「準大手」・「中堅」は08年度、09年度とも営業赤字であったが、営業黒字となる結果となった。

## ⑥ 経常利益（連結）

単位：百万円

### 経常利益／経常利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率
08年度1Q	18,637	1.3%	▲ 7,525	▲ 0.9%	▲ 10,014	▲ 2.5%	1,098	0.0%
09年度1Q	9,399	0.7%	▲ 3,767	▲ 0.5%	▲ 4,541	▲ 1.1%	1,091	0.0%
10年度1Q	15,636	1.5%	3,677	0.5%	2,674	0.7%	21,987	1.0%

### 対前年同期比

	大手	準大手	中堅	総計
08年度1Q	-	-	-	-
09年度1Q	▲ 49.6%	▲ 49.9%	▲ 54.7%	▲ 0.6%
10年度1Q	66.4%	黒字転換	黒字転換	1,915.3%

- 経常利益は、階層を問わず、大幅に回復した。
- 円高の進行に伴う為替差損が多く、多くの企業で計上され、経常利益へ大きなインパクトを与えている。（総計で約70億円の計上）
- 今後も円高が継続すれば、大きな影響が出ると予想される。

## ⑦特別利益・特別損失の内訳(連結)

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計		
	10年度1Q	09年度1Q	10年度1Q	09年度1Q	10年度1Q	09年度1Q	10年度1Q	09年度1Q	
<b>特別利益</b>	<b>2,278</b>	<b>3,769</b>	<b>5,452</b>	<b>4,906</b>	<b>1,713</b>	<b>2,455</b>	<b>9,443</b>	<b>11,130</b>	
主な内訳	前期損益修正益	657	133	670	1,899	405	439	1,732	2,471
	投資有価証券売却益	109	3,503	70	31	115	505	294	4,039
	固定資産売却益	62	9	1,954	105	120	187	2,136	301
	貸倒引当金戻入	44	0	1,970	2,698	530	652	2,544	3,350
<b>特別損失</b>	<b>6,778</b>	<b>5,535</b>	<b>4,671</b>	<b>4,470</b>	<b>1,924</b>	<b>7,284</b>	<b>13,373</b>	<b>17,289</b>	
主な内訳	前期損益修正損	0	0	42	35	183	52	225	87
	投資有価証券評価損	4,361	2,750	2,781	921	598	296	7,740	3,967
	販売用不動産等評価損	0	0	0	0	0	1,123	0	1,123
	貸倒損失引当金	0	1,973	131	2,113	0	4,335	131	8,421
	割増退職金	0	0	102	45	282	755	384	800
	減損損失	0	0	132	101	11	15	143	116

- 特別損失は、投資有価証券評価損が昨年度から引き続き多く計上されている。
- 今期はデベロッパー等の倒産が少なく、貸倒損失は少ない。
- 会計基準の変更に伴い「資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額」が多くの企業で特別損失に計上されている。(総計で約32億円)

注)上記の特別利益・損失の内訳は各社の分類によるものであり、会社によっては、上記項目に該当するものでも、「その他」等ここに挙げていない項目に含めているものがある。

## ⑧当期純利益(連結)

単位:百万円

### 当期純利益／当期純利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率
08年度1Q	12,834	0.9%	▲ 11,782	▲ 1.4%	▲ 12,587	▲ 3.2%	▲ 11,535	▲ 0.4%
09年度1Q	2,500	0.2%	▲ 3,300	▲ 0.4%	▲ 9,776	▲ 2.4%	▲ 10,576	▲ 0.4%
10年度1Q	10,492	1.0%	3,142	0.4%	1,662	0.4%	15,296	0.7%

### 当期純利益(通期)／当期純利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率
07年度通期	112,933	1.6%	▲ 20,923	▲ 0.4%	▲ 19,968	▲ 0.8%	72,042	0.5%
08年度通期	▲ 13,439	▲ 0.2%	▲ 27,907	▲ 0.6%	▲ 18,612	▲ 0.8%	▲ 59,958	▲ 0.4%
09年度通期	▲ 25,751	▲ 0.4%	▲ 16,316	▲ 0.4%	13,193	0.6%	▲ 28,874	▲ 0.2%
10年度半期予想	9,500	0.4%	▲ 1,830	▲ 0.1%	▲ 6,340	▲ 0.7%	1,330	0.0%
10年度通期予想	54,000	1.0%	31,600	0.9%	17,850	0.9%	103,450	0.9%

- 売上総利益の改善、販管費の削減等により各階層で黒字となった。但し、全39社中14社が当期純損失である。(前年度同期は全39社中26社が純損失)
- 半期業績予想を第1四半期ですでに達成している企業も見受けられるが、偶発事象に備え、修正しない企業もあった。

## ⑨有利子負債（連結）

単位：百万円

### 有利子負債額

	大手	準大手	中堅	総計
07年度末	1,636,257	702,745	447,634	2,786,636
08年度1Q末	1,526,737	738,716	451,526	2,716,979
08年度末	1,795,451	825,168	484,829	3,105,448
09年度1Q末	1,960,383	836,892	438,477	3,235,752
09年度末	1,984,779	754,261	412,066	3,151,106
10年度1Q末	1,968,792	719,390	357,318	3,045,500

- 有利子負債額は、対前年同期比総計で約1,903億円減少した。（「大手」：約84億円増加、「準大手」：約1,175億円減少、「中堅」：約812億円減少）
- 対前年度末比では、各階層で減少し、総計で約1,056億円減少した。
- 「準大手」、「中堅」では、有利子負債の圧縮は確実に進んでいる。しかし、「大手」では増加傾向にある。

## ⑩自己資本比率・デットエクイティレシオ（連結）

### 自己資本比率

	大手	準大手	中堅	総計
08年度1Q末	19.9%	24.2%	23.3%	21.8%
09年度1Q末	17.3%	24.3%	23.8%	20.4%
10年度1Q末	18.8%	27.4%	28.9%	22.9%

### D/Eレシオ

	大手	準大手	中堅	総計
08年度1Q末	1.05	0.73	0.88	0.91
09年度1Q末	1.59	0.90	0.95	1.23
10年度1Q末	1.71	0.80	0.75	1.21

※有利子負債/自己資本で算出

- 自己資本比率は、各階層で比率が上昇している。
- 有利子負債減少と自己資本増加に伴い、D/Eレシオは総計で0.02ポイント低下している。

## ⑪ キャッシュフロー(連結)

単位:百万円

### 営業キャッシュフロー

	大手	準大手	中堅	総計
08年度1Q末	▲ 25,987	31,939	88,192	94,144
09年度1Q末	21,362	23,388	92,701	137,451
10年度1Q末	▲ 14,153	86,837	115,640	188,324

### 投資キャッシュフロー

	大手	準大手	中堅	総計
08年度1Q末	▲ 2,563	▲ 4,256	▲ 5,930	▲ 12,749
09年度1Q末	▲ 6,902	▲ 5,823	▲ 10,895	▲ 23,620
10年度1Q末	▲ 36,690	1,620	▲ 7,653	▲ 42,723

### 財務キャッシュフロー

	大手	準大手	中堅	総計
08年度1Q末	▲ 43,154	▲ 23,453	▲ 317	▲ 66,924
09年度1Q末	▲ 41,332	▲ 36,022	▲ 50,751	▲ 128,105
10年度1Q末	▲ 29,011	▲ 45,317	▲ 59,314	▲ 133,642

- 営業キャッシュフローは、「準大手」・「中堅」で売上債権の回収により改善されている。「大手」は営業キャッシュフローがマイナスになっている。